

### 第3回血管生物若手研究会 報告

2017年3月3-4日の2日間、淡路夢舞台国際会議場にて、第3回血管生物若手研究会を開催させて頂きました。本研究会は、第一、二回と同様に、血管生物医学会員の若手研究者が主体となって、会の準備、運営、開催に至るまでを自分たちで行うという形で開催されました。本研究会を企画する動機となった「日本でも海外に発信できる若手研究者を増やしたい」という目標のもと、これまでの血管生物若手研究会よりも活発な会を開催することができました。

未発表データを中心とした発表を目標としていたのですが、第二回の発表内容が第一回の時と変わらない内容の発表者が見受けられたという反省を生かし、未発表データを中心に自身の研究をアピールしていきたい若手研究者が一堂に会して、それぞれの研究推進のために発表および意見交換を行うことができました。

第三回は、25演題とこれまでと同様の演題数が集まり、全員口頭発表の形式で、討論時間を充分にとり活発な意見交換を行いました。クローズの会であることに加えて、出席者が若手主体ということもあり、発表内容は挑戦的でレベルの高い物が多く、忌憚のない活発な討論が行われました。研究会の最後には、発表者全員による互選にて優秀発表者を選出しました。

また、若手への教育講演ということで、神戸大学大学院医学研究科平島正則先生に講演を行っていただきました。平島正則先生の講演では、これまでの研究内容を振り返る形で発表していただき、さらに我々若手研究者に対して研究者としての心がけを熱く語って頂きました。また、若手の発表に対しても多くのアドバイスをいただき、今後の研究に対して励みになりました。

最後になりましたが、本研究会は血管生物医学会の理事会および学術委員会の援助とご指導の下で開催することができ、ここに感謝申し上げます。まだまだ、会の進行などに反省点もございますが、ぜひ第四回以降も継続して開催していきたいと考えております。今回、ご参加を頂きました若手研究者の方々にもこの場を借りて感謝申し上げます。

(血管生物若手研究会事務局)



血管生物医学若手最優秀賞

野々村 恵子（基礎生物学研究所 初期発生分野）

血管生物医学若手優秀賞

後藤 聡（理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト）

飯田 敦夫（京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 再生増殖制御学分野）

村松 史隆（大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野）

近藤 彩乃（東京大学 先端研 ゲノムサイエンス分野）

